

Shin Club 05

㈱辰 通信 Vol.5
August 2000年
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone:03-3486-1570 Fax:03-3486-1450

今月のトーク 「建築のご用聞き」

都心のマンションに住む友人が、キッチンとバスのリフォームをしたいそうです。もう、業者も決まっているのだけれど、自分では見積りが妥当なものかよくわからないし、キッチンももっと自由な設計にできないかという相談です。スポンサーは同居しているお義父様なので、嫁としてはいろいろ言いくい、でもまるっきりお任せなのはいや、という彼女。どのくらいの価格でどんなものが出来るのか、自分の足で探しました。こちらもキッチンメーカーをご紹介したり、その見積を見てあげたりしましたが、予定の業者さんの見積り、高い！うちで同じモノを見積もったところ、かなり割高に感じられました。実は、その業者さんは、百貨店の営業さん。日頃のお付き合いの中から、お義父さまがお願いしたそうです。しかし、うちのような施工業者にダイレクトに依頼するのとは違って、それはもちろん経費がかかります。それでも結局、仕事はその業者さんに決まってしまう。キッチンについては彼女が自分でアレンジできる工房を頼んで入れてもらうことにしたそうです。

雑誌『BRUTUS』8月1日号は「湘南に住むということ」がテーマでした。数多くの海辺の物件情報が掲載され、まるで不動産屋さんのよう。その中に面白い記事を見つけました。「御用聞きは湘南に根付いた文化」という話です。鎌倉でお米を届けて40年という米店のご主人、「古くからのお宅には、それ

ぞれ商人が入っています。御用聞きは信頼で成り立つ商売ですから、いい品物を、誠意を持ってお届けしたい。……おかげさまで人づてにご紹介いただいたお客さまが、今じゃ鎌倉全域におられます。幸せな商売してますよ。」うらやましい話です。御用聞きは、昔は自分の商売だけでなく、いろんな話を相談されては、次にお伺いするときまでに情報を仕入れてきたそうです。百貨店の外商にも同じようなお客様との関係が存在しています。今はどこも専門店化しているので、そのようなお付き合いをしているお客様はもういないのかもしれないと思っておりましたが、いらっしゃいましたね。

「自己決定の時代」といわれる現代ですが、今後お年寄り世帯が増えるにつれ、日常の様々な雑事を決めていくのに、どのようなお金の使い方をしていくか、心強い相談相手が求められていると感じます。インターネットの中高年利用者が増えていますが、新しい情報を多くの人々が容易に活用できるかは疑問です。やはり、人と人との信頼関係が一番求められていると感じます。百貨店は、いろいろなものを売る商売ですから、お客様と接する機会も多いでしょう。でも、建築の話は百貨店の営業担当者より、建築のプロとしていただきたいと思えました。今回は、お義父様の時代からのお付き合いにはかきませんでした。

信頼関係は一朝一夕では作り上げられない、長いお付き合いの中の実績でしか得られないのだと痛感しています。

作品訪問



横浜市都筑区茅ヶ崎南2-3-1
RC造 地上2階
敷地:12161.53㎡
建築:97.352㎡
延床:194.709㎡
2000年4月
設計:日本設計+辰

洗足学園横浜キャンパスJAZZ練習棟

洗足学園は、3年前、日本の大学としては初めてJAZZコースを設けた。溝の口校舎での練習場が手狭になり、専用練習棟がここ港北ニュータウンの横浜キャンパス内に新しく建てられた。1学年50人ほど学生の約3分の2は男性、年齢もさまざまのことである。いろんな楽器の専攻があり、講師にはあの有名な山下洋輔氏もいる。受験生も増えているようだ。クラシックの練習場はスペースを必要とするが、JAZZの演奏は元来狭いスペースですむため、建物の外観はまさにコンパクトな箱である。打楽器などはクラシックよりさらに音が大きいので、より防音に配慮して西側のアンサンブル室を除いた部屋に窓はない。学園事務長の福本氏からは、良心的な工事に非常に満足しているとお言葉をいただいた。



TOPIC

「瀬田の家」地鎮祭(7月14日)

お施主は、東京を拠点に活躍する造形作家、崔在銀氏。1976年来日、草月流門下に入られました。1984年個展を開催以後、日本、イタリア、パリ、韓国と世界各地で活躍されています。命と時間をモチーフにした作品は女性とは思えないスケールの大きさです。



「a/ha邸」地鎮祭(8月6日)

写真家と歯科医のご夫婦の自邸。オリジナル家具で人気のIDEEと辰のコラボレーション第1作が、ここ自由が丘でスタートしました。



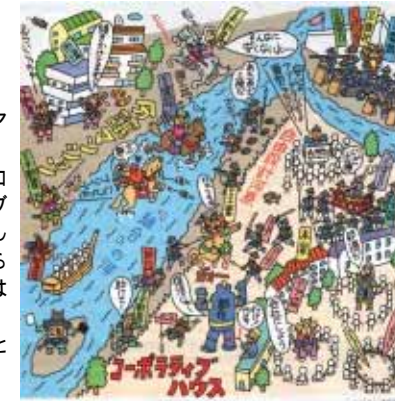
WHAT'S NEW

From this month's magazine

「コープ住宅のチャンスとリスク」



今月はコーポラティブ住宅の現状を取り上げた、『日経アーキテクチュア(8月7日号)』の記事をご紹介します。題して「徹底検証ーコープ住宅ブームのチャンスとリスク」。1977年にコミュニティ形成を重視した第1次ブームを迎えたコープ住宅でしたが、バブル崩壊以後、土地担保融資がほとんど出来なくなり、供給戸数は激減しました。しかし今、都心部を中心に一戸建ては無理でも、コープ住宅なら対応できるような狭小な土地が出てきたという追い風もあります。現在は「自由設計」を前面に打ち出した、ビジネスライクのものが増えています。最近竣工したケースやトラブルなどを綿密に取材、コープ住宅のヒントと教訓を読みとってほしいというだけあって、読み応えあります。



BBS (掲示板)

家庭科の授業

8月某日、弊社の松村拓也が、母校A学園の家庭科夏季講義の講師として招かれ、「健康住宅考案(自分の基準で家づくり)」という内容で、授業を行いました。この高校は男子校ですが、1997年から文部省の指導により週1回家庭科の授業が導入されました。生徒たちは普段の授業だけではなく関心を持ちつつづけられませんか。家庭科の先生もいろいろ工夫されており、夏休みには、福祉、食品、経済、環境問題など16コースに及ぶ選択コースを設けて外部専門家の協力を得ています。

以前、『家庭科研究』という家庭科教師のための雑誌に掲載された松村の記事が家庭科の先生の目にとり、学園出身者と知ってシックハウスの話を通じて家作りの講義を依頼されたのです。快諾した松村は、珪藻土(ご協力いただいたサメジマコーポレーションさん、ありがとうございます)や建材見本を持って学校を訪れました。単に環境を配慮したものを使うだけにはとどまらず、ものの考え方を改めなくてはならないという松村の話は生徒たちにも新鮮だったようです。男子にも家庭科は必要ですね。



NOTE

㈱ユニホー熱海サミット

7月14日～15日まで熱海において、ユニホー各支店、関係会社の役員が出席して、1～6月の営業成績報告と下期の展望について、話し合いました。

熱海桃山旅荘オープン

8月1日、ユニホー熱海桃山旅荘がオープンとなりました。基本宿泊料金は大人1泊朝食付きで3,500円(消費税・入浴税別)(サービス料込み)夕食はオプション(宿泊予約時に申し込み)(正月、GW、お盆、熱海花火大会は特別料金)ユニホー関連会社の方ならどなたでもご利用できます。お問い合わせは、ユニホー本社受付(伴野・横井)まで。(TEL:052-703-1111)

INFORMATION

異動 : 桜井 修 営業部次長(特建事業部廃止に伴う) 8月1日付
柳生 博之 退職 7月31日付